

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)市職員などによる介護予防をテーマとした出前講座や講演会、また、認知症に係る出前講座を実施している。 (課題)参加者や出前講座依頼元の固定化。	出前講座や講演会による地域住民への啓発	・職員出前講座の実施 ・介護予防講演会の実施	・職員出前講座の実施 12回 参加者 219人 ・介護予防講演会の実施 1回 参加者 145人	○	・出前講座に関しては、当初依頼を受けたものや、随時依頼のあったもの等に派遣することができた。 ・介護予防講演会に関しては、前年度より参加人数は減少したものの重要なテーマであるため、今後も周知等に力を入れながら継続実施していく
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)筋トレ・脳トレ・ストレッチなどを取り入れた交野市オリジナル体操「元気アップ体操」を通じて、気軽に介護予防に取り組む場を提供している。 (課題)参加者の固定化及び参加者数の伸び悩み。	元気アップ体操クラブの開催	・元気アップ体操クラブの実施	・元気アップ体操クラブの実施 112回 参加者 3,834人	◎	・参加人数に若干の減少を認めるものの、実施回数は増加することができた ・今後も継続して実施していく
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)筋肉量や体脂肪等を測定し、その結果をもとに健康アドバイスを実施している。 (課題)参加者の固定化及び参加者数の伸び悩み。	体力測定会の開催 心身の状態を知る機会の提供	・体力測定会の実施 120人	・体力測定会の実施 6回 参加者 97人	◎	・前年度と同様の参加者数を認めた ・今後も継続して実施していく
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)「頭の元気度チェック事業(認知機能チェック)」を実施し、認知症の早期発見、早期対応に繋げる (課題)参加者の固定化及び参加者数の伸び悩み。	頭の元気度チェック事業の実施	・認知機能測定(頭の元気度チェック)の実施 170人	・認知機能測定(頭の元気度チェック)の実施 タッチパネル版 12回 参加者 41人 電話版 57人	△	・電話版、タッチパネル版ともに、参加者数の減少を認めた。さらなる周知・啓発に努める ・今後も継続して実施していく
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)「元気アップ教室」「健康リーダー」など地域での住民等主体による新たな受け皿づくりに取り組み地域住民の体力の維持向上や物忘れ予防、閉じこもり予防や寝たきり予防につなげます。 (課題)参加者の固定化、男性参加者が少ない。	通いの場の機能強化 自主的な健康づくりのサポート	通いの場(元気アップ教室)参加率(参加実人数/高齢者人口) 5.0% 元気アップ体操クラブの開催回数 100回 延べ参加者数 4,100人	【通いの場(元気アップ教室)】 参加率 3.8% 実参加数 821人 【元気アップ体操クラブ】 開催回数 112回 延べ参加者数 3,834人	◎	・参加者数、参加率ともに前年度と同様であった ・今後も継続して実施していく ・通いの場まで通うことが困難な方でも参加できる方法(オンライン介護予防教室など)の検討も必要である
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)地域住民主体の各種集いの場を市民へ周知し、参加してもらうことを目的とした、介護予防活動紹介集を作成している。 (課題)定期的な見直しが必要。	通いの場の機能強化	「あなたの街の介護予防」掲載の通いの場所数 計134か所	・「あなたの街の介護予防」掲載の通いの場所数 計128か所	◎	・2年に1回、改訂を行っている ・R8年度改訂予定である ・介護予防に資する活動を行っていないながらも、掲載を希望しないグループもあることから、引き続き掲載を依頼していく

①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)介護予防や閉じこもり防止の観点から、高齢者が要介護状態にならずに住み慣れた地域で自立した生活を続けられるよう「街かどデイハウス事業」を実施する。 (課題)	通いの場の機能強化	「街かどデイハウス事業」の実施	【街かどデイハウス支援事業】 実施箇所 2か所 延利用人数 2,064人 活動日数 274日	◎	・地域の拠点として今後も継続的に実施する。 ・活動日数は増加しているが、利用人数はやや減少しており、利用者の固定化や新規利用者の確保をする必要がある。
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)関係団体との連携の元、住民主体で運営する通いの場やサロン団体等にリハビリテーション専門職を派遣し、運動指導や講話を実施。 (課題)リハビリテーション専門職の確保が困難	地域リハビリテーション活動支援事業の実施	・リハビリテーション専門職による、生活課題に関するアドバイス事業の実施 ・元気アップ教室等に理学療法士や介護予防運動指導員等を派遣し、運動指導や講話を実施	・元気アップ教室へ定期的に理学療法士や介護予防運動指導士等を派遣し、指導等を実施 ・派遣回数 219回	◎	・今年度も継続して実施していく
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)「交野市健康増進計画・食育推進計画」に基づき、生活習慣病予防や地域ぐるみでの健康づくりの推進に取り組んでいる。 (課題)参加者の固定化、男性参加者が少ない。	交野市健康増進計画・食育推進計画の推進	「交野市健康増進計画・食育推進計画」に基づき、生活習慣病予防や地域ぐるみでの健康づくりの推進に取り組んでいる。	がん検診の実施(胃1397人、肺4732人、大腸4080人、乳1406人、子宮頸2073人、前立腺1584人、肝炎417人、胃リスク244人) 成人歯科健診の実施:196人 けんしん当日血圧指導:37回、384人 けんしん当日骨密度測定:50回、1153人 市民ウォーク歩く歩くDAYの開催:10回、229人 女性のセミナー開催:1回、26人 骨粗しょう症予防教室の開催:1回、17人 出前講座の開催:7回、162人 がん検診精密検査受診勧奨:104人	◎	・健康づくり教室等事業への参加者は高齢者が多く、働き世代の参加は少ない傾向がある。若い時期の健康づくりが高齢期の健康関連するため、若い世代への働きかけ方法について引き続き検討する。
①自立支援、介護予防、重度化防止	(現状)高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施できるよう、庁内部局間による事業検討を実施。 (課題)	保健事業と一体的に行う介護予防の実施	・保健事業を担当する医療保険課と、介護予防事業の内容や医療保険被保険者の傾向などを確認した上で、疾病予防・重度化予防とフレイル予防の一体的な取り組みを行う。	・フレイル・健診に関するチラシを作成し、元気アップ体操教室の参加者へ配布	◎	・今後も継続して実施し、高齢者がより効果的な健康づくり・介護予防に取り組めるよう努める
②介護給付等費用の適正化	(現状)介護認定審査会における適正な審査判定を行うため、年に1回認定審査会委員を対象に研修会を実施している。 (課題)適正な審査会の議事・審査を引き続き維持する必要がある。	公平・校正で適切な要介護認定の実施	「認定審査会委員研修会」の開催回数 1回	「認定審査会委員研修会」の開催回数 1回	◎	・介護認定審査会委員を対象に研修会を行った。適正な審査会の議事・審査は維持できている。 ・今後も引き続き、委員間の認識や制度について、判断の均一性を維持する必要がある。
②介護給付等費用の適正化	(現状)介護支援専門員を対象に、自立支援や重度化防止に資するケアプラン作成が行えているか専門団体によるチェックを実施している。 (課題)	ケアプランチェックの実施	ケアプランチェック対象プラン件数 40件	ケアプランチェックをしたプラン件数45件	◎	・市内介護支援専門員にケアプランを提出してもらい、専門団体より講師を招き研修会を実施。研修会では提出したプラン全体での総評と各質問についての解説を行い介護支援専門員の理解を深めることができた。 ・今後も継続して実施する。

<p>②介護給付等費用の適正化</p>	<p>(現状)要介護認定を受けた、介護支援専門員が不在の住宅改修希望者に対し、現地確認及び理由書の作成、見積書の点検等を実施している。 (課題)改修事業者によって、制度の理解に乏しく、本人に見合わない改修内容が提案されることがある。</p>	<p>住宅改修等の点検</p>	<p>住宅改修事前現地調査件数 16件</p>	<p>住宅改修事前現地調査件数 15件</p>	<p>◎</p>	<p>・職員が現地調査を実施することで適正な住宅改修につなげることができた。 今後も継続して実施することにより、施工業者や被保険者が適正な住宅改修について理解を深めていく必要がある。</p>
<p>②介護給付等費用の適正化</p>	<p>(現状)福祉用具購入時の支給申請書類の内容を精査し、利用者等に確認を実施し、利用者に助言等を行う。 (課題)販売事業者等による、必要以上に高額な用具の提案、比較可能な用具の提案数や使用方法に関するサポートが乏しいことなどが懸念される。</p>	<p>福祉用具購入時の調査</p>	<p>福祉用具購入時調査件数 60件</p>	<p>福祉用具購入時調査件数 50件</p>	<p>◎</p>	<p>・電話、アンケートで調査を行い、福祉用具購入が適正であるか確認を行った。 ・今後も継続して実施し、販売業者が利用者宅を訪問時に同席し、適正な購入ができていないか確認を行う。</p>
<p>②介護給付等費用の適正化</p>	<p>(現状)大阪府国民健康保険団体連合会に委託し、国保連システムから出力される「医療情報との突合リスト」を用いて、入院情報と介護保険給付情報を突合しサービスの整合性の点検を実施している。 (課題)点検結果に対する対応が十分に行えていない。</p>	<p>医療情報との突合</p>	<p>医療情報との突合実施件数 120件</p>	<p>医療情報との突合実施件数 183件(令和6年度)</p>	<p>◎</p>	<p>・介護事業者に対し、継続的に適切な給付管理の実施を促すように努める。 ・今後も引き続き大阪府国民健康保険団体連合会に委託して実施する。</p>
<p>②介護給付等費用の適正化</p>	<p>(現状)大阪府国民健康保険団体連合会に委託し、提供されたサービスの整合性や算定回数の点検を実施している。 (課題)点検結果に対する対応が十分に行えていない。</p>	<p>縦覧点検</p>	<p>縦覧点検実施件数 800件</p>	<p>縦覧点検実施件数 1,354件(令和6年度)</p>	<p>◎</p>	<p>・令和5年1月より未審査一覧について独自点検を行っているが、過誤申立に至る件数は少なく非効率である。 ・今後も引き続き大阪府国民健康保険団体連合会に委託して実施するとともに、点検効果が見込まれる帳票に注力して独自点検を実施する。</p>
<p>②介護給付等費用の適正化</p>	<p>(現状)適切なサービス利用と請求の促進を目的に、介護報酬の請求や給付状況を通知している。 (課題)送付の希望申請があった人に送付しているが、対象者が限定されている。</p>	<p>介護給付費の通知</p>	<p>介護給付費等通知件数 390件</p>	<p>介護給付費等通知件数 498件</p>	<p>◎</p>	<p>希望者への発送としているが、結果通知に案内を同封しており、新規認定者からの申し出が一定数あり、今後もこの対応で実施する。 全員発送には問い合わせ対応や費用面で課題がある。</p>